

伊藤です



大崎町協力隊通信 vol. 32

トピックス1 草を刈り、つながり育てる草刈りツーリズム

過疎高齢化により地域課題となっている草刈りに、観光の要素を組み合わせた「持留川堤防草焼き・草刈りツーリズム」を1月25日に開催しました。当日は町内外からおよそ50人が参加。草刈りをきっかけに遠方から集まった人々を持留地域の皆さんが温かく迎えました。持留川周辺で共に作業をおこない交流を深めました。持留地域では長年、堤防の草焼きがおこなわれてきましたが、近年は担い手不足により中止も検討されていました。私は県内で活動する「草刈りツーリズム」という草刈りと観光を掛け合わせた取り組みを知り、持留公民館と相談を重ね、今回の開催に至りました。当日は参加者が自前の刈払機を持ち寄り、中には重機を使って除草をしてくださる方もいました。全長1kmを超える区間を、大人数で協力しながら草刈りました。



作業後は、持留地区農業構造改善センターにて地元の皆さんによる炊き出しがおこなわれ、大崎町社会福祉協議会のご指導のもと、簡単にお米を炊く方法も学びました。草焼きについては、天候などを考慮し今回は中止としました。また、地域の方から持留の歴史や草焼きの意義について説明をいただき、参加者からは「地域に住んでいても知らなかった歴史を知ることができた」という声も聞かれました。



今回の取り組みを通じて、地域の仕事である草刈りをみんなの力でこなう、ツーリズムという新しい形で外部の力を借りておこなう可能性を感じました。持留の方々との交流が生まれ、迎える側の結束力や団結力が高まるなど、コミュニティの強化にもつながる取り組みと感じました。

トピックス2 野方 竹林整備と竹灯籠の夕べ

炭焼きが、手軽にできる「無煙炭化器」を大崎町役場から借りている野方公民館は竹林整備の2回目をおこないました。今回も照日神社に関連する祠の周辺の竹林をきれいにする作業になりましたが、3月に予定されている「竹灯籠の夕べ」の準備に取り掛かりました。今後竹に穴を開けてゆく、数百本におよぶ竹灯籠づくりがはじまります。



竹灯籠の夕べは、3月29日(日)開催です。日没から20時頃まで照日神社境内を彩ります。



竹林整備で竹炭を作る「無煙炭化器」は大崎町役場で無料貸し出しをおこなっています。利用希望の方はご連絡ください。誰でも簡単に竹炭が作れます。広がり続けて困る竹を有効活用してみませんか？



大崎町地域おこし協力隊

【お問い合わせ】 農林振興課 林務水産係(内線506) 担当:鶴野、西野 ☎476-1111(平日8:30~17:15まで)